

津市の魅力を多くの人に

副市長 小松 雅和

これまでとこれから

皆さん、こんにちは。副市長の小松です。

私は、昭和58年に三重県警察官を拝命し、令和2年3月に生活安全部長を最後に37年間勤務した三重県警察を退職しました。

令和2年4月1日から危機管理部長として津市役所に勤務し、令和4年1月1日付で副市長に就任して1年4カ月が経過しました。

地方自治法に定められた副市長の職務は、市長を補佐し、市長の命を受けて政策および企画をつかさどり、その補助機関である職員の担任する事務を監督することです。

副市長に就任後、時を同じくして第6波とその後の第7波、第8波といわれる新型コロナウイルス感染症の爆発的な感染拡大、令和4年2月のロシアによるウクライナ侵攻や円安などを要因とする物価高騰が市民生活や経済活動に大きく影響を及ぼすなど、これまで経験したことのない事象やさまざまな課題に直面しましたが、これらに対して市長をトップとして職員一丸となって取り組みました。

令和5年度は、挑むべき未来の津市へつなぐ3つのテーマ「都市の未来」「こどもの未来」「地域の未来」に向けて、大きく変化しようとする社会に対応していくための取り組みを継続的に推進するほか、各分野における喫緊の課題や市民生活・地域経済を支える施策にまい進してまいります。

魅力ある津市

私たち家族が津市に移り住んで30年余りとなります。

この間、単身赴任で東京都内や四日市市、松



阪市、熊野市に居住したほか、名古屋市や桑名市に通勤したこともありましたが、いずれの街にもその土地ならではの素晴らしさや思い出があります。

津市は、山・川・海と豊かな自然がそろう風光明媚な土地柄で、名古屋、大阪など中部圏と近畿圏、津なぎさまちから中部国際空港を経由すれば国内外にも通じるなど、交通アクセスも良好です。

また、続日本100名城に選ばれた津城跡や国宝に指定された御影堂・如来堂を有する高田本山専修寺、清少納言の枕草子で日本三名泉の一つとうたわれた榊原温泉など、歴史・観光施設が数多くあります。

加えて、三重県の県庁所在地として国や県などの行政機関が数多く所在し、国立大学法人三重大学や三重県総合文化センターなどの文化施設も多く、多様な都市機能が集積し、さらなる発展・進化が見込まれる誇れる都市であり、何より人の温かさが最大の魅力です。

副市長として、この津市の素晴らしさと魅力を市内外の皆さんに知っていただくとともに、前職で培った知識や経験を生かして市民の安全・安心に向けた行財政運営と皆さんの期待と信頼に応えられる津市役所となるよう全力で取り組んでまいります。

小松雅和副市長プロフィール

昭和58年4月三重県警察に採用。刑事部門や警務部門、交通部門などの職務に従事。四日市北警察署長、三重県警察本部警務部首席参事官、同首席監察官、生活安全部長などを歴任。令和2年3月三重県警察を退職後、同年4月から津市危機管理部長に就き、令和4年1月1日から副市長に就任。